・精密加工)

村茂

の新提案

ザ

立木どり、需要が大きく落ち込みまた。 型コロナによる、歌舞伎・都を 扇骨の概要とレーザー加工機導入部分 使用シーン

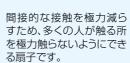
優れたデザイン性の

「高島扇骨」を実現

コロナ対策扇子







仲骨

目もみ

(穴あけ)

・**仲じまい** (形を作る)

15

工程

〈扇骨〉

親骨

16

工

程

加工機導入

親骨

親けずり

(形を作る)

・目もみ

(穴あけ)

竹切り

仲骨

エレベーターのボタンや引 き戸の取手を触れる必要 がありません。



作業風景/白干し(天日干し)工程です

一男でおり、豆の食物である。

扇面が張られる仲骨と仲

と、非常に複雑な30工程以上を経て製品骨を両側から支える親骨部分を合わせる 価な海外品の流入と後継者の減少によっ 上芸やその技術は、 危機に直面しています。 な熟練の技と長年の経験が必要 高島扇骨の職人が持つ経験と 生活様式の変化や安 扇骨のような伝統

産扇骨の製造及び開発を行い、市場に提加価値の高い形状や優れたデザインの国高い技術を継承しつつ、今までにない付 工機の導入に取り くことを目的とし、 滋賀県工業技術総合セン レー

条件の検討を進めました。 機による扇骨の材料である竹の最適加工 ADなどの技術習得や、 の技術指導を受け、デザインに必要 らかった複雑な形状の加工や国内でも限られた職人しか イラスト い扇骨を製造 加工

生産性の向

らに、手作業で最も重要な工程が機械化することが出来ることになりました。さ 自社によるデザイン性の高 手掛けられなかった複雑な形状 により効率化されることで、

とらわれない付加価値の高い新ことが可能となり、既成概念にで複雑な形状やデザインを施す手作業では困難であった緻密 ①立体的な造形が可能 ものづくり補助金活用 ここがポイント! 誕生・ お祝い事を祝う縁起物の扇子 ・ 折り 結婚・長寿の家族イベン 少量多品種の対応力を活かず。この内製化とデザイン 貼りまでの内製化にも取 力や、

大切なペッ

Point



工不良の低減を実現できました。 1・2倍の製造効率向上と加

③生産性向上

②少量多品種の対応が可能

-/10でも対応できます。従来の最小ロット200

本の

規性の高い扇骨ができます。

村茂

代表者名/村田 高弘 資本金/ 一 従業員数/4人 創業・設立年月/1985年 事業内容/「高島扇骨」など扇子製造 TEL/0740-20-1850

住所/滋賀県高島市安曇川町西万木19

E-mail/murashigefan@gmail.com URL/https://murashige-fan.com/

FAX/0740-20-1850

OMPANY INFORMATION

·上により、

このような状況ですが、

扇面のデザ

自社で一貫生産した オリジナル扇子あります

村田 高弘

代表

伝統技術と最新技術・最新設備の融合により、扇子業界でも初 めての試みで誰も製造していない、竹材だけの竹扇子の開発・製

これは、扇面の紙や布のデザインに頼らず、紙や布を貼らない 竹材だけの新感覚の扇子で、水濡れに強く、強度があがるだけで なく、軽量・コンパクト等の利点もあり、実用品としてだけでなく 装飾品・インテリア用途としても広がる可能性があります。

滋賀県工業技術総合センターとの共同研究により、デザイン・技 術をさらに向上させるとともに、デザインを勉強されている大学と もコラボし、若い世代の感性もデザインに取り入れていきたいと考 えています。

伝統工芸は後継者という課題を抱えていますが、最新技術・最 新設備の導入やデザインへの挑戦という将来に向けた取り組みを 積極的に行うことは、若い後継者の励みにもなっています。

新たな市場を拡大していくことで、滋賀県扇子工業組合の一員と して産地の活性化と伝統工芸の担い手となる若い世代の雇用につ なげていきたいと考えています。